

【第4回 洋光台まちづくりアンケート】

- 調査概要

- 調査結果

- ①フェイスシートなど

- ②居住環境指標

- ③洋光台での取り組み評価

- ④洋光台駅前エリアの将来像

- ⑤自由記載

- ⑥重回帰分析・テキストマイニングによる分析

- 地域への情報発信

別添資料

- ・アンケート票
- ・アンケート結果（地域配布用）

○『ルネッサンス in 洋光台』の事業効果を検証

- ・前回との比較（居住継続意向・まちの評価など）
- ・「ルネッサンス in 洋光台」の取り組みの認知度・参加状況の把握

○具体的な取り組みの認知度・評価の把握

- ・中央団地の広場改修、まちまど立ち上げなど

○『ルネッサンス in 洋光台』事業の周知・PR

- ・プロジェクトの成果が伝わる宣材を同封

■調査のねらい

- ・事業効果検証
- ・具体的取組みの認知度・評価の把握
- ・事業の周知・PR

■調査対象

- ・洋光台エリア 約13,100世帯

■調査方法

- ・アンケート用紙をポスティングにて全戸配布、郵送回収、WEB回収(初)

■調査期間

- ・令和5年5月8日～令和5年6月16 日

■回収率

- ・18.7%(配布数 12,423票／回収数 2,321票)

※第1回 15.9%、第2回 11.7%、第3回17.2%

■設問内容

- ①7つの居住環境指標
- ②具体的な取り組み
- ③洋光台駅前エリアの将来像
- ④フェイスシート
- ⑤自由記載

回収状況(郵送・WEB)

郵送回収79%、WEB回収21%

郵送回収は年齢層が高く、WEB回答は年齢層が低い

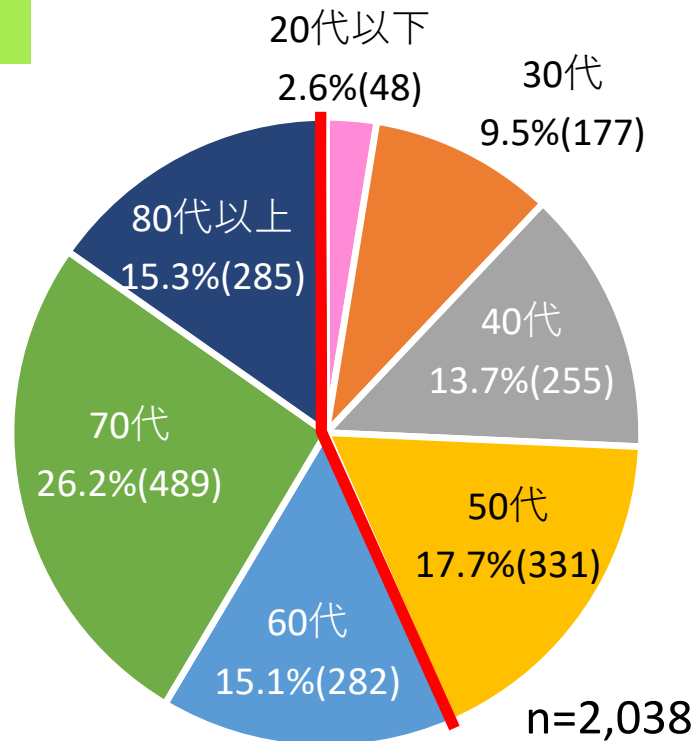
34歳以下ではWEB回収の割合が高い

回答者の 年齢	回収数			年代別ベース割合			回収方法ベース割合		
	全体	郵送	WEB	全体	郵送	WEB	全体	郵送	WEB
～24歳	26	11	15	 1%	 1%	 3%	100%	42%	58%
25歳～34歳	163	68	95	 8%	 4%	 20%	100%	42%	58%
35歳～44歳	231	116	115	 11%	 7%	 24%	100%	50%	50%
45歳～54歳	316	210	106	 15%	 13%	 22%	100%	66%	34%
55歳～64歳	371	271	100	 18%	 17%	 21%	100%	73%	27%
65歳～74歳	393	353	40	 19%	 23%	 8%	100%	90%	10%
75歳～84歳	395	389	6	 19%	 25%	 1%	100%	98%	2%
85歳～	150	146	4	 7%	 9%	 1%	100%	97%	3%
小 計 (無回答等を除く)	2,045	1,564	481	100%	100%	100%	100%	76%	24%
無回答・不明	276	276	0	-	-	-	-	-	-
合 計 (無回答等を含む)	2,321	1,840	481	-	-	-	100%	79%	21%

回答者のプロフィール：回答者の年代

高齢者の割合が減少 60代以上 = 56.6% ➡ 55.5%

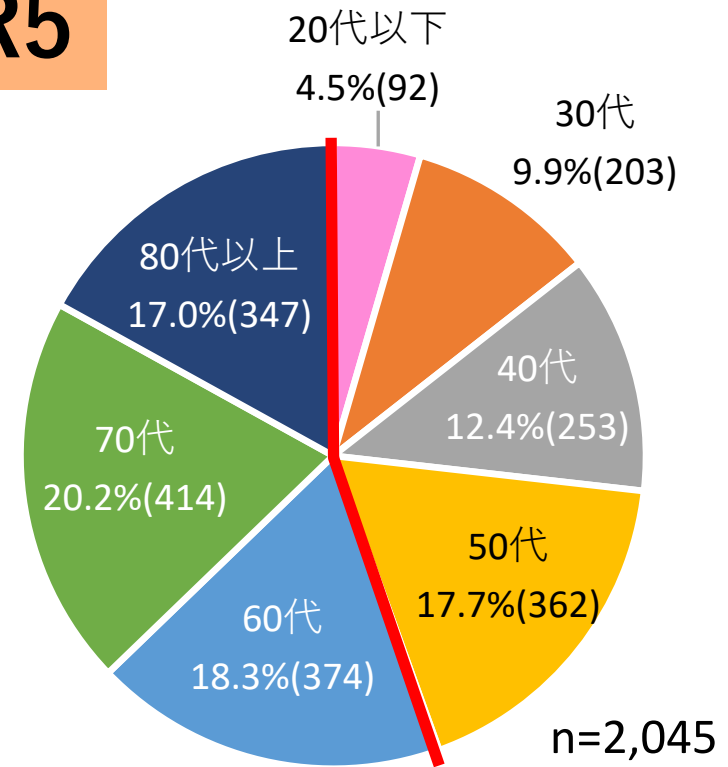
R1



60代以上の割合：

56.6%

R5



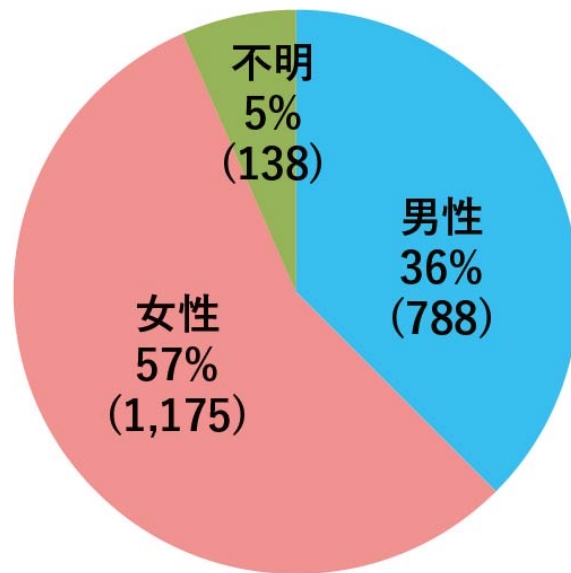
55.5%

回答者のプロフィール：回答者男女比

無回答(答えたくない含む)の割合が増加、女性の回答者が多い

R1

n=2101

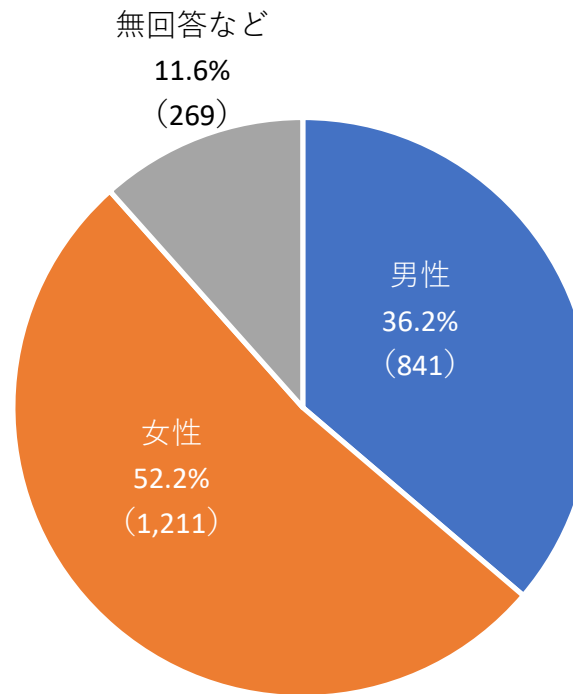


女性の割合：

57%

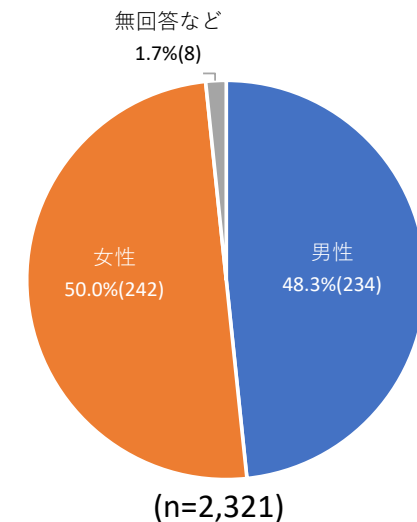
R5

n=2,311



52%

R5・WEB回収



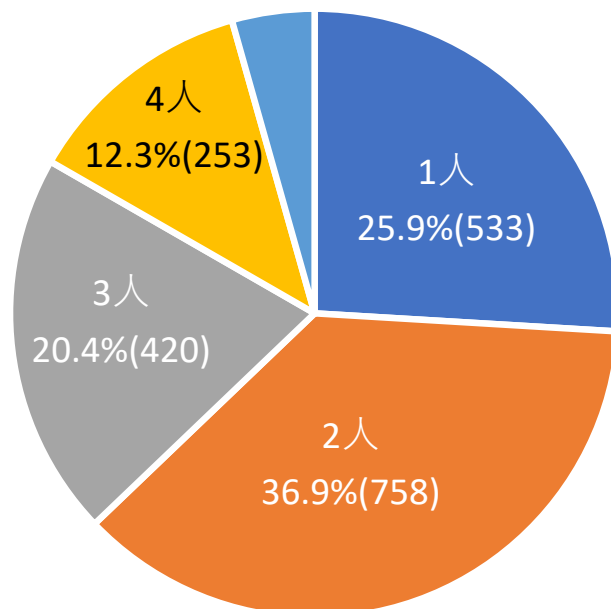
WEB回収では男性の割合が
全体に比べて高くなる

世帯人数により増減があるが大きな傾向はなし

R1

n=2,054

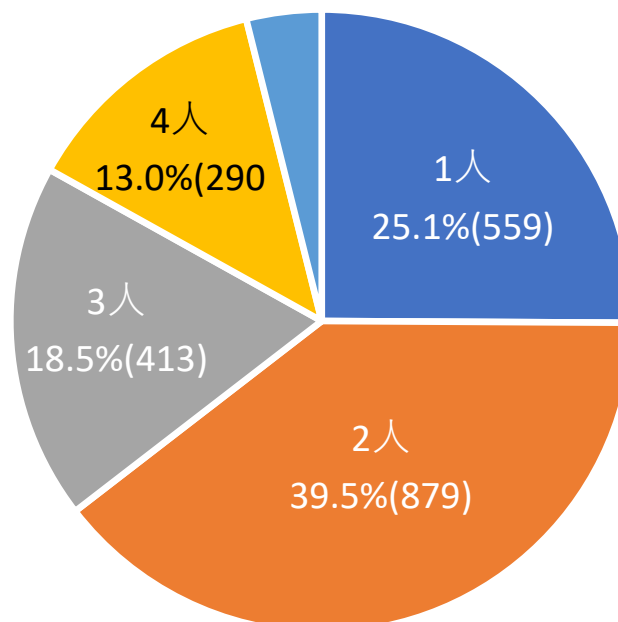
5人以上
4.4%(90)



R5

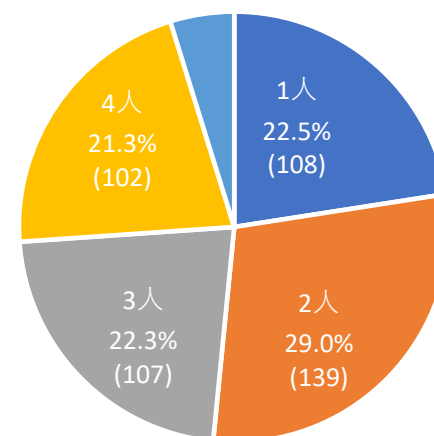
n=2,228

5人以上
3.9%(87)



R5・WEB回収

5人以上
4.8%(23)



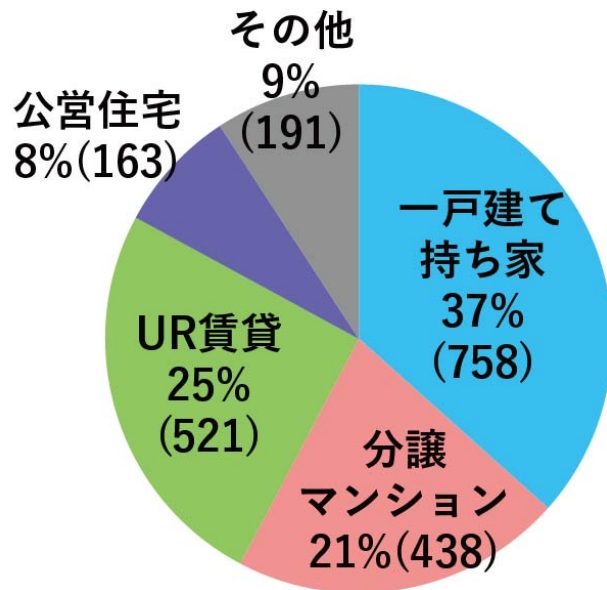
(n=479)

WEB回収では
2人世帯割合が減
3人以上の世帯が多い

大きな傾向はなし

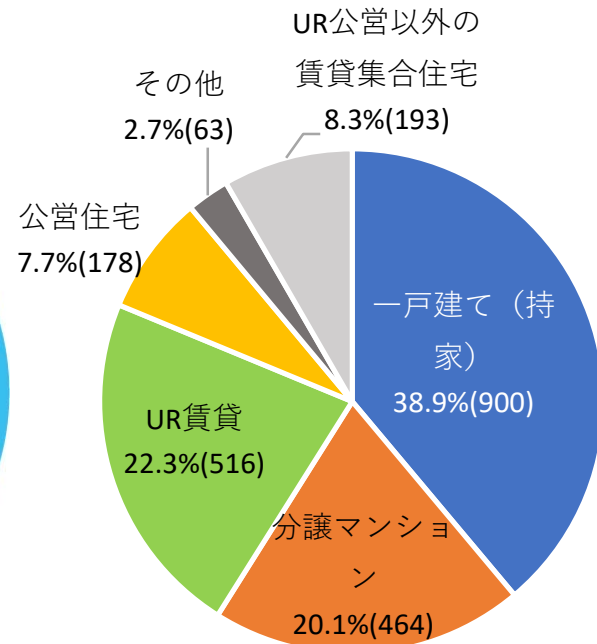
R1

n=2071

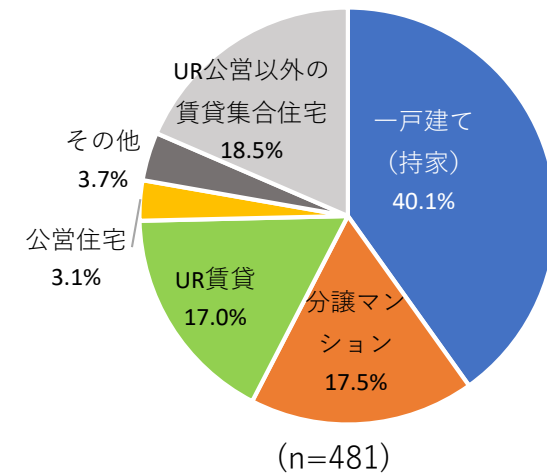


R5

n=2,314

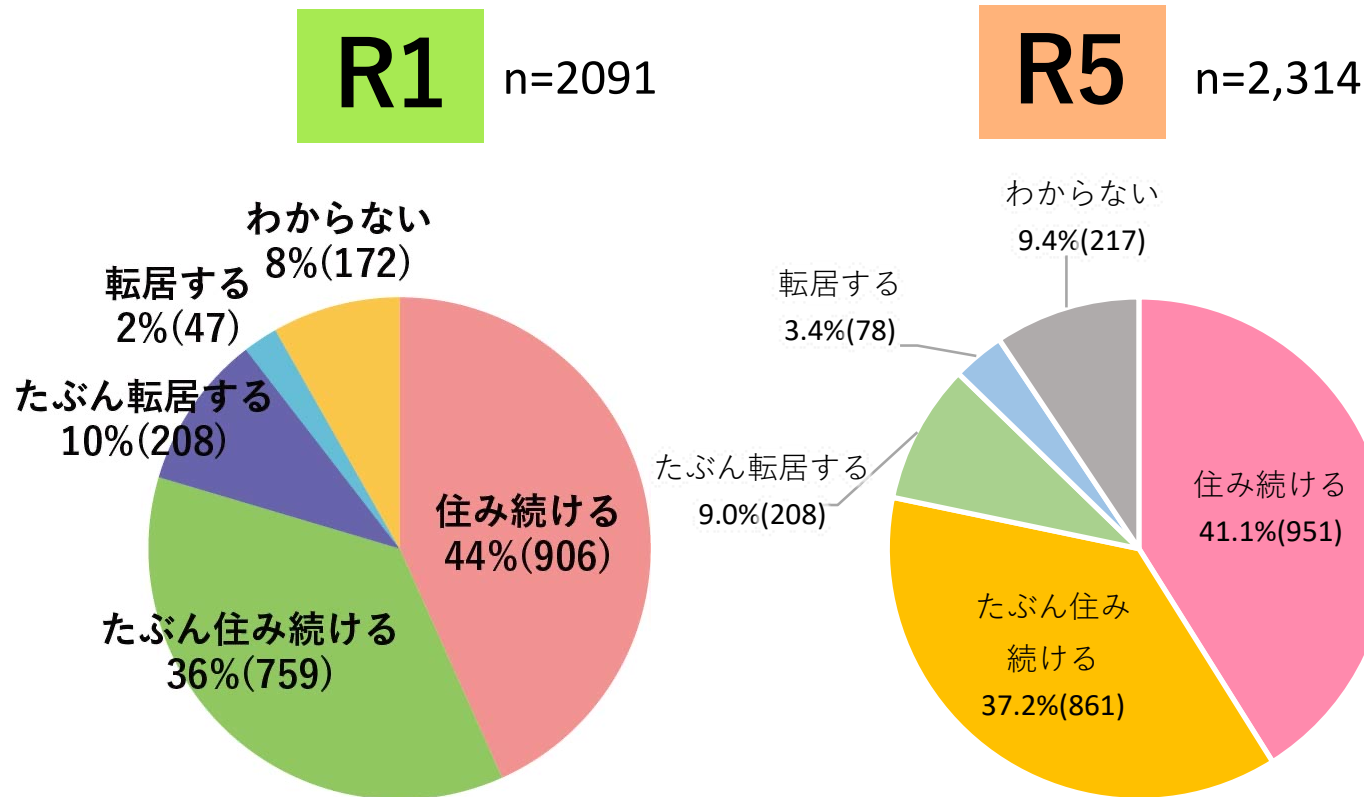


R5・WEB回収



WEB回収では
UR・公営以外の賃貸集
合住宅の割合が高い

「住み続ける」が減少 44% ➡ 41% / 転居理由は「家族の都合やUターン」



※「現在のお住まいに住み続けたいか」という設問のため洋光台への住み続けには直結しない

● 転居の理由

加齢による不安、施設入居等	24	10%
住宅内・建物の老朽化・設備の問題	14	6%
間取り・広さ改善	35	14%
家賃問題・賃貸だから等	15	6%
持家購入	22	9%
まちの魅力がない・暮らしにくい	30	12%
仕事の都合	39	15%
家族の都合・Uターン・実家に住む等	43	17%
その他	30	12%
合計	252	100%

「住み続ける」 + 「たぶん住み続ける」 割合：

80%

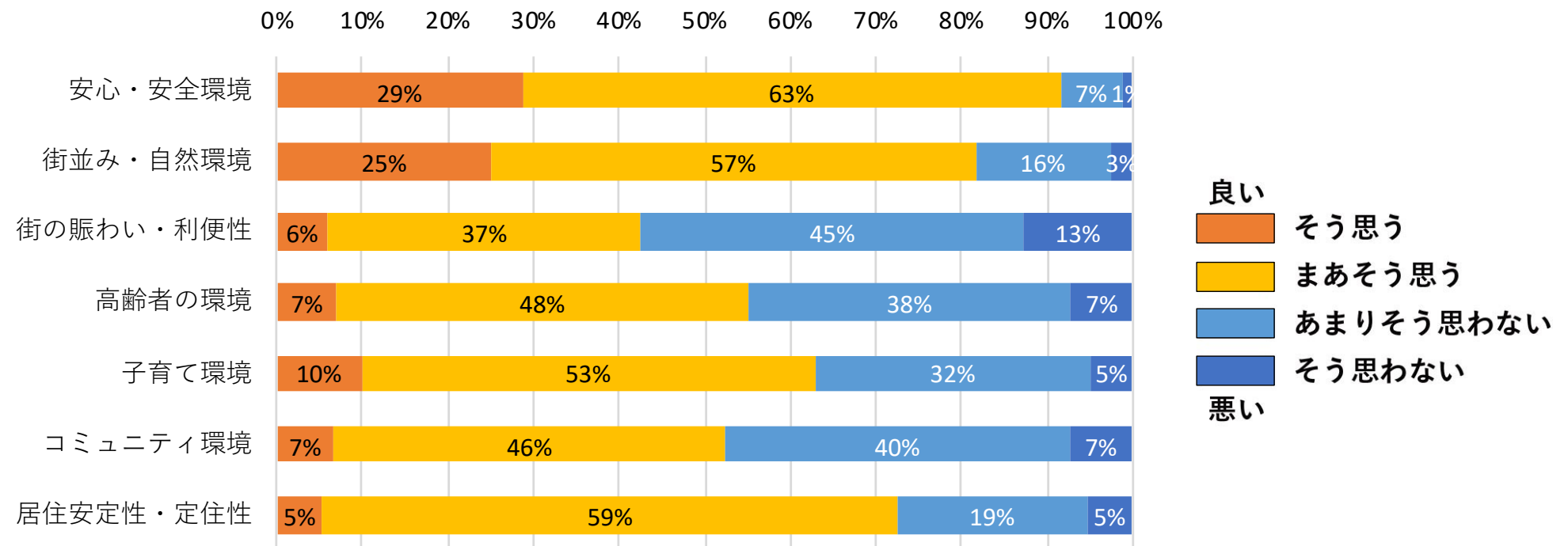
79%

「安心・安全環境」の評価が高く、「賑わい・利便性」の評価が低い

→「安心・安全環境」は「そう思う」「まあそう思う」の合計が90%以上

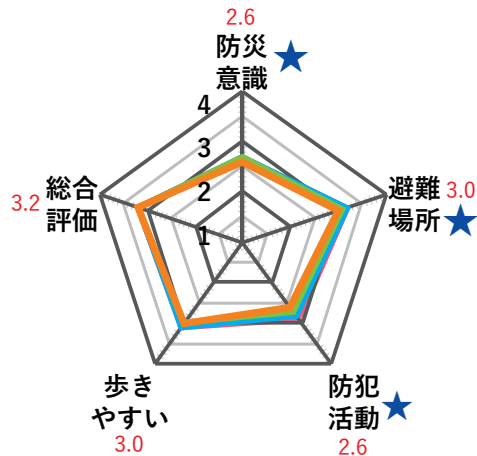
「賑わい・利便性」は「そう思う」「まあそう思う」の合計が50%未満

問8：現在の洋光台のまちに関して、あなたはどのように感じていますか。（SA）

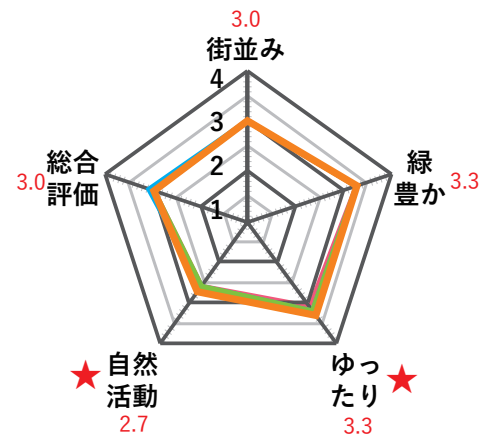


大きく変化した項目はないが
「子育て環境」では5項目のうち4項目で評価がアップした

● 安心・安全環境



● 街並み・自然環境



● 街の賑わい・利便性



R5

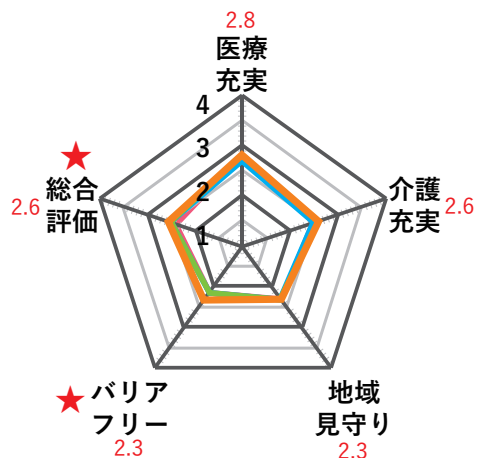
R1

H25

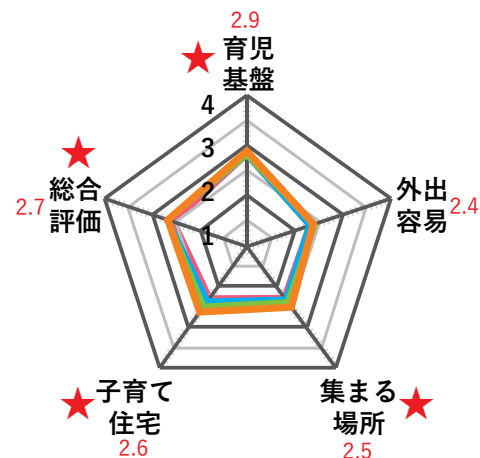
H28

★ R1より評価アップ
★ R1より評価ダウン

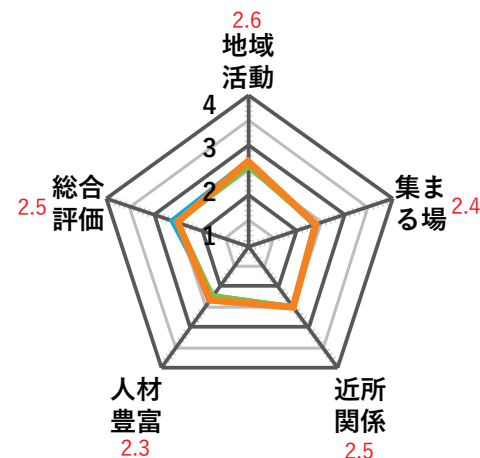
● 高齢者の環境



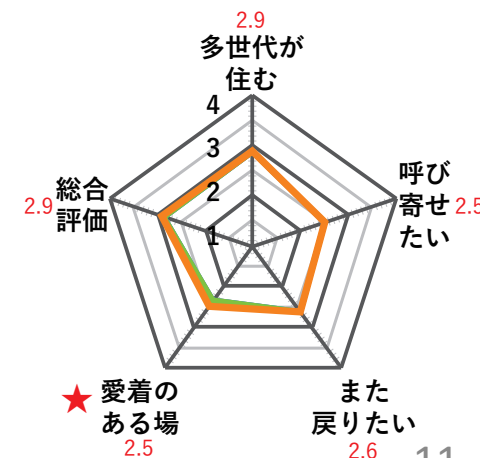
● 子育て環境



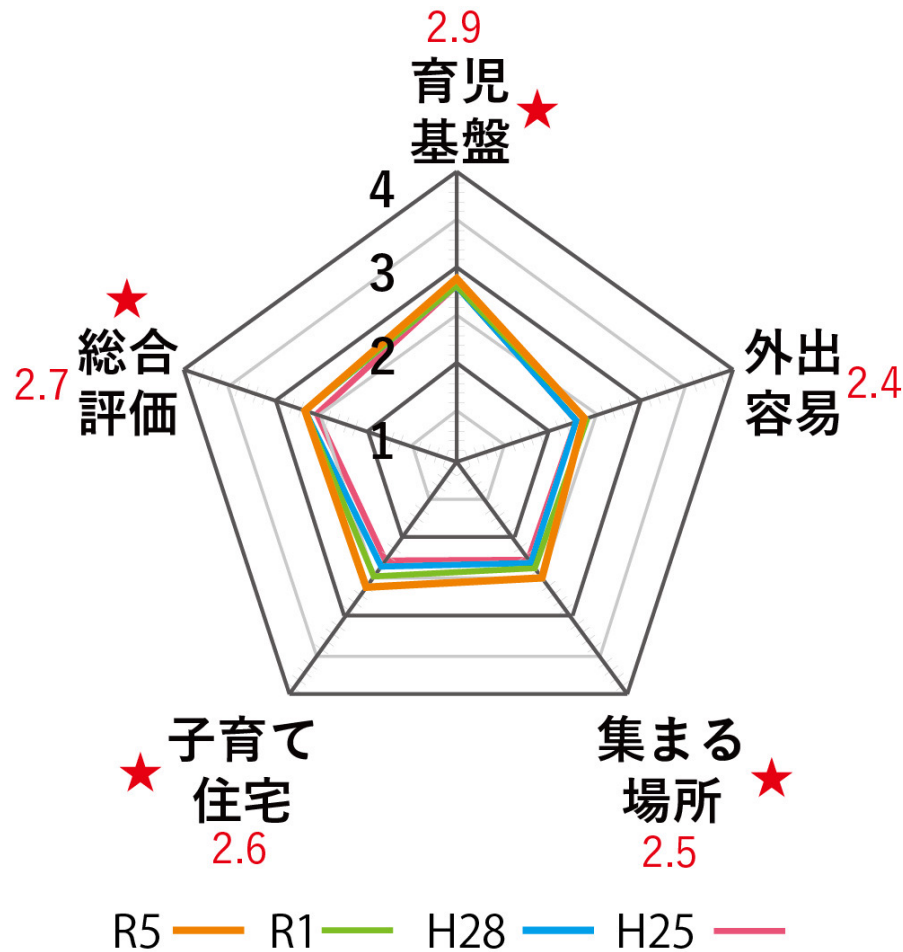
● コミュニティ環境



● 居住安定性・定住性



「子育て環境」の評価は下がることなく、評価がアップしている



項目	設問	R5	R1	H28	H25
総合評価	(総合的に) 洋光台地区は、子育て層が暮らしやすいまち	2.7	2.6	2.6	2.6
育児基盤	安心してのびのび遊べる公園や保育所等の子育て施設が多い	2.9	2.8	2.8	2.8
外出容易	子育て層に配慮したスーパーや飲食店がある	2.4	2.4	2.3	2.3
集まる場所	子育て仲間が集る交流の場や機会が多い	2.5	2.4	2.4	2.3
子育て住宅	子育て家族向けの住宅が多い	2.6	2.5	2.5	2.4

※加重平均
 そう思う4、まあそう思う3、
 あまりそう思わない2、そう思わない1

自由記載「洋光台のまちの魅力や良いところ、自慢できること」より

若年層からは「子育てしやすい」の声があり、高齢者からも若年層・子どもが地域にいたることがプラスと捉える声があがっている。

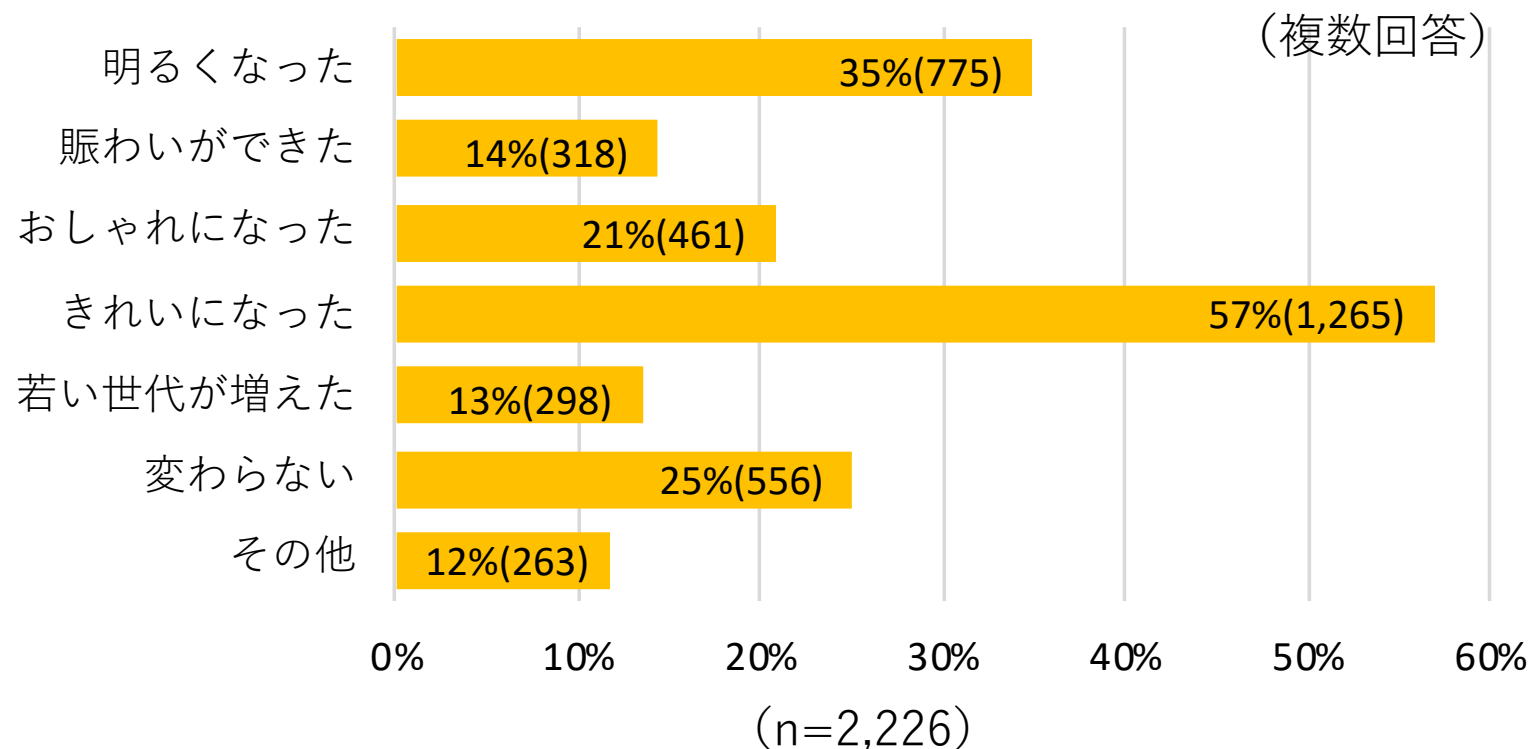
元々の洋光台の環境に加えて、地域のイベントが多い(増えた)こと、広場整備などの結果で子育て環境の評価が高まった可能性がある。また、子育て世代を大事にする意識が高まりも感じられる。

公園が色んな所にあるのは、子どもの私からすると有難いです！人とのふれ合いも良く若い人からお年寄りの人まで優しい方が沢山います。	20代
お子さんが多く、イベントやお祭りの度に笑顔があふれており、昔よりは活気があって素敵です。自然も多いですし、住んだ事はなかったですが、私自身保育園は洋光台だったので当時より綺麗になっていて良いです。	20代
気さくで優しい高齢者が多く、子育て世代を温かく見守ってくれる人達が多い落ち着いた地区。	30代
子育てしやすい公園や施設が多い。高齢者が多く、近隣の子育て経験者の方々が気さくに声をかけてくれるため、子育てしやすい。	30代
子供たちがお金をかけずに遊べる場所が多い。人と人とのつながりを大切にする人が少なくない。	30代
洋光台に去年引っ越してきましたが、こどもの集える場所が多くあり、スーパーもたくさんあり、道幅も広く、子育て世代には暮らしやすいです。ご近所の年配の方が頻繁に赤ちゃんに話しかけてくれたり、ママがんばってねと言っただけのがとても嬉しく、優しい街だなという印象です。	40代
子育てに理解のある人が多い。子どもを巻き込む街の祭り(キッズマーケット、キャンドルナイトなど)。公園が多くて子どもたちが飽きない。	40代
地域のイベントが多い。子育てをしていると声をかけてくれる地域の方々が多く、地域で育ててもらっている気がする。	30代
高齢者が多い印象がありますが、みなさん優しく、自分も大変だと思うのに、子どもに声をかけて下さったり、気遣って下さったり、ちょっとアットホームな雰囲気があるのも魅力の1つだと思います。	30代

派手にアピールされていなくても子育てのサポート、サークル、地域の活動が豊かに引きつがれている。	50代
団地や学校に囲まれて子ども達はのびのび過ごせているかな。団地の広場や集会所のような場所がリニューアルされてキレイになり、皆が利用しやすくなったと感じる。子どもたちの見守りの目も自然にあって安全で安心である。学校、自治会、住民の輪でいろんなことを協力したり、コラボしたり、という試みを行えている。	50代
憩いのお店や体を動かせる広場があり、大人にも子どもにも優しい街づくりをしている。	50代
若いファミリーが子育てを頑張っているのを温かく見守る人がいる街。	60代
人がやさしいこと。子どもたちが仲良さそうに遊んでいる事で安らくなる。	70代
新築住居が狭小化して以前よりゆったりした景観が減ってしまったが、若年世代が転入し易くなり街が活性化するメリットもあるので、何とも言えないがプラスと考えている。子供の声がする街は必要である。	70代
老人が増えているのも事実ですが、最近子ども連れの若い家族が多くなっているように感じて嬉しく思っています。それぞれが住みやすいように向上できるとさらに良い町になれると思います	70代
こども科学館や駅前公園で行われている子どものイベントはにぎやかな活気があってほほえましいです。	80代
(施設からの意見)子育てに熱い街。地元愛が強い街。新しい事を始める街。イベントがたくさんある事。	-

問：洋光台では直近5年間でいくつかのまちの整備（中央団地広場、北団地リニューアルなど）が行われました。以前と比べ洋光台の全体的なまちのイメージはどう変わりましたか（MA）

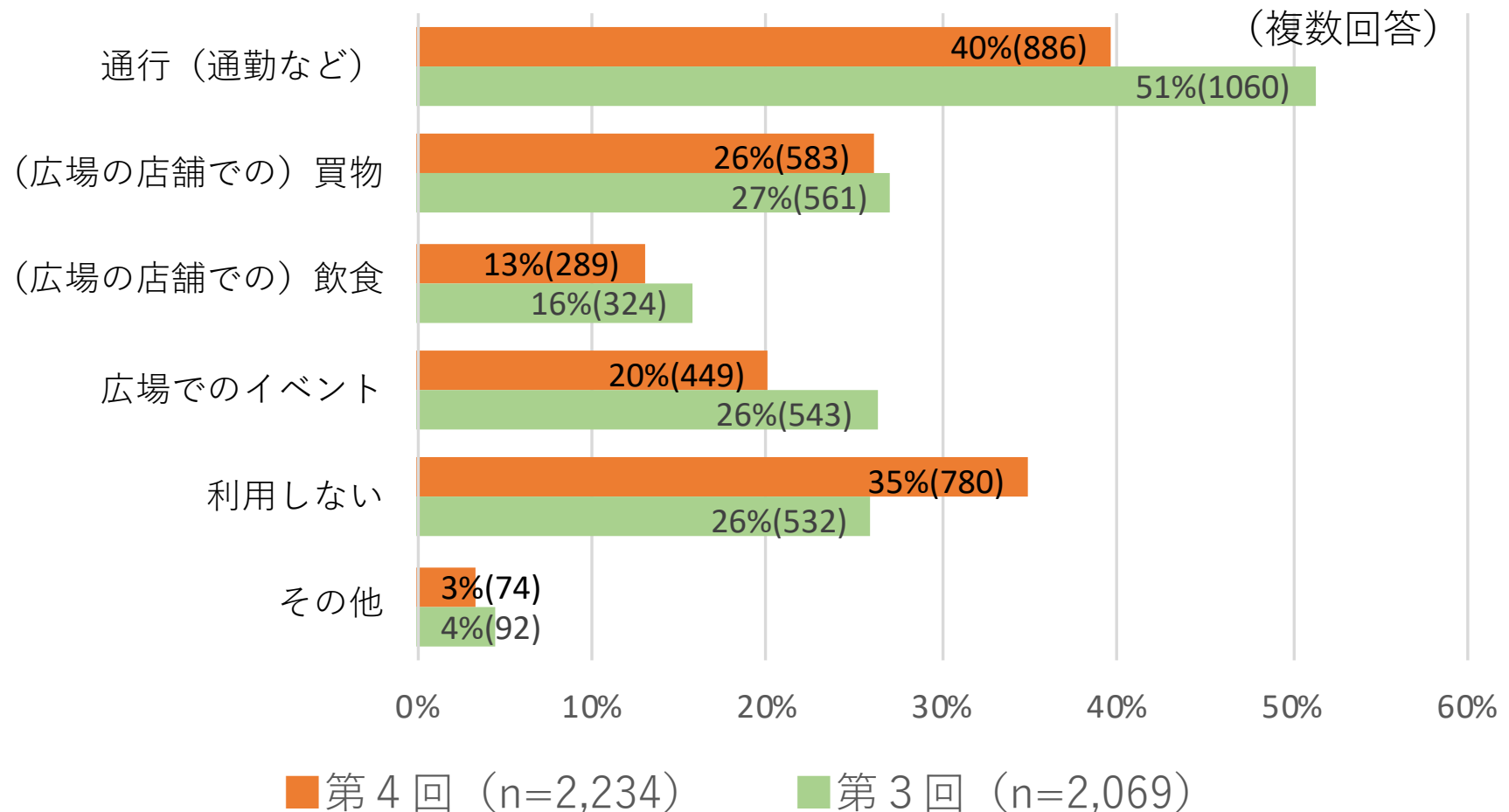
「きれいになった」が最も多く57%、次いで明るくなった「35%」



※「その他」には「わからない／整備前を知らない」という声の他、少子高齢化の進行や店舗が少なくなったことに加え、否定的な意見が多かった

第4回:「通行(通勤など)」が約40%、「利用しない」が約35%

- ・第3回に比べ、「利用しない」が増え、利用に関する選択肢の各割合が減っている
コロナ禍によるライフスタイルの変化による影響が考えられる

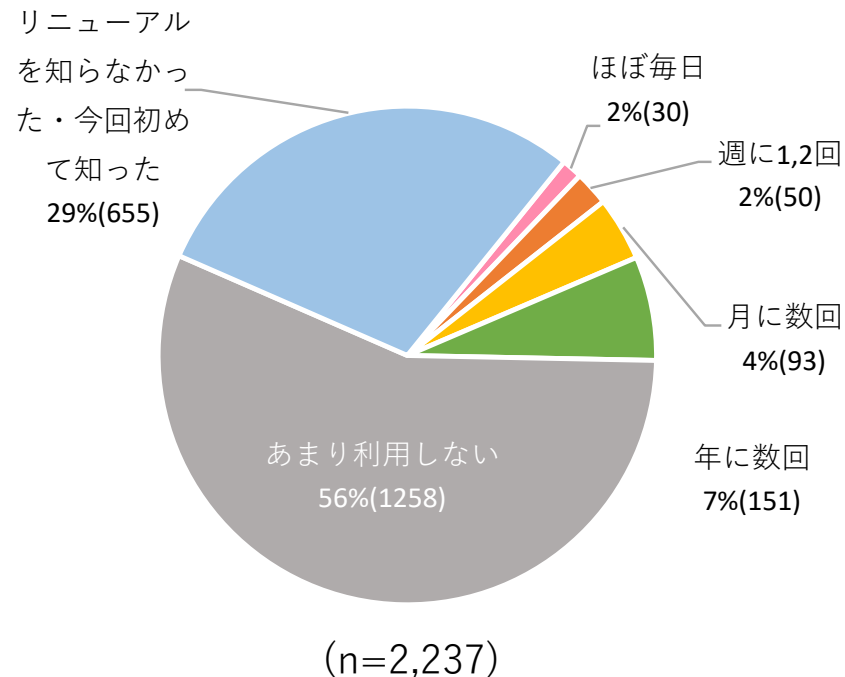


利用頻度:「あまり利用しない」56%、「知らなかった・初めて知った」30%

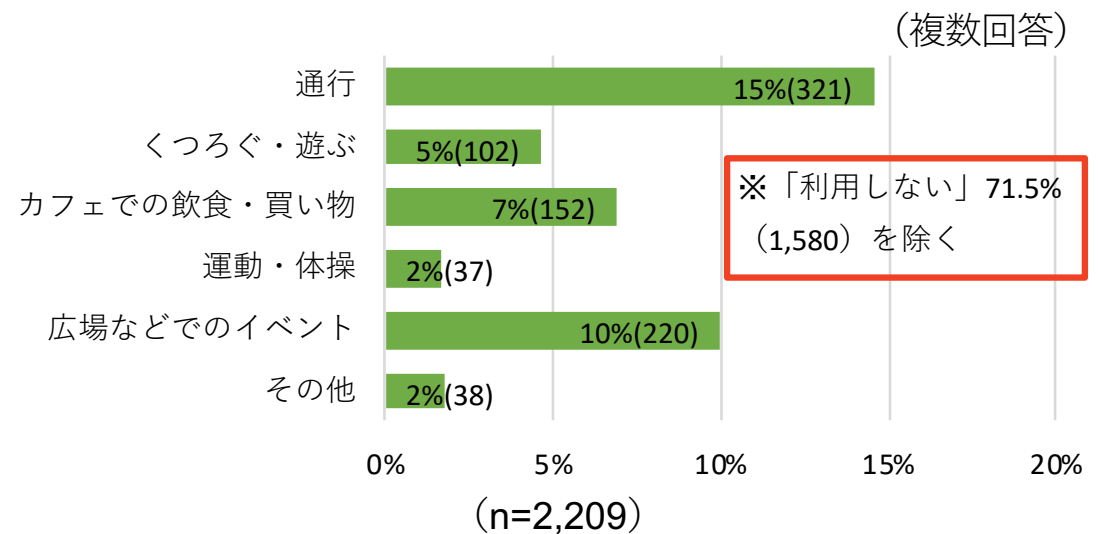
利用内容:「利用しない」71.5%、「通行」15%、「イベント」10%

- ・今回のアンケートをきっかけに、集会所周辺のリニューアルや広場でのイベントを知った人も多く、今後利用が増える可能性がある

■ 利用頻度 (SA)

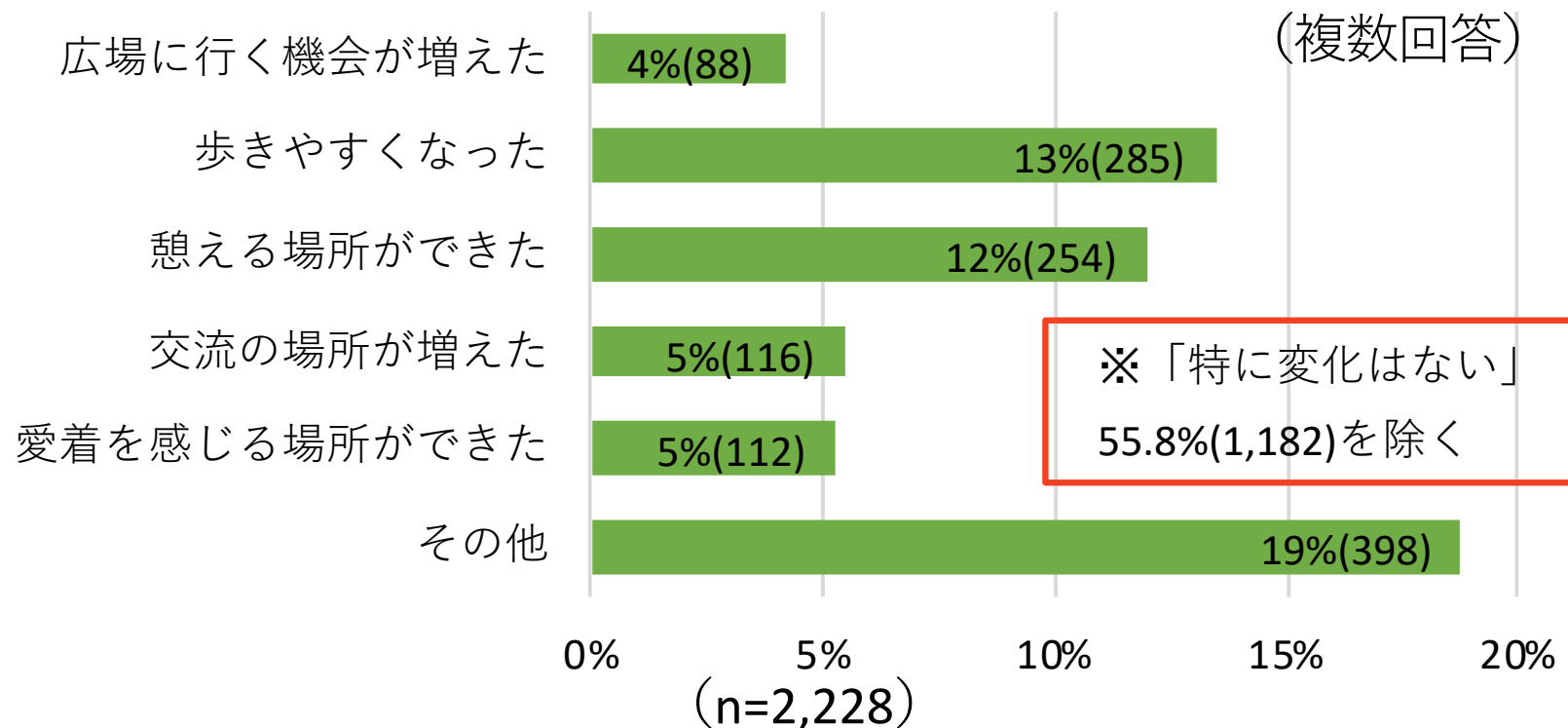


■ 利用内容 (MA)



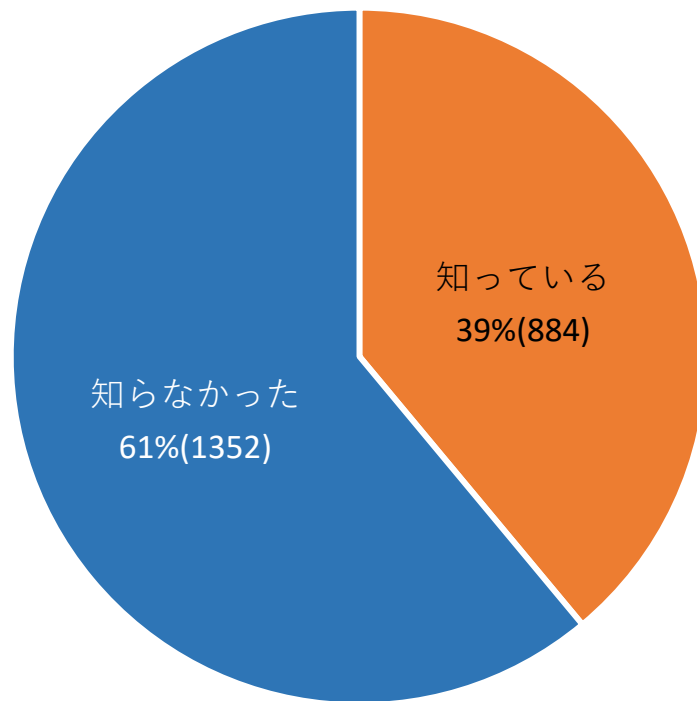
「特に変化はない」56%を除くと、「歩きやすくなった」13%が多く、
次いで「憩える場所ができた」12%。

- ・「その他」の「利用しない・行く機会がない」等が最も多く239件
- 「きれいになった」「行ってみたい」「明るくなった」という声の他に
- 「住民以外も利用できることを知らなかった」等の声もあった



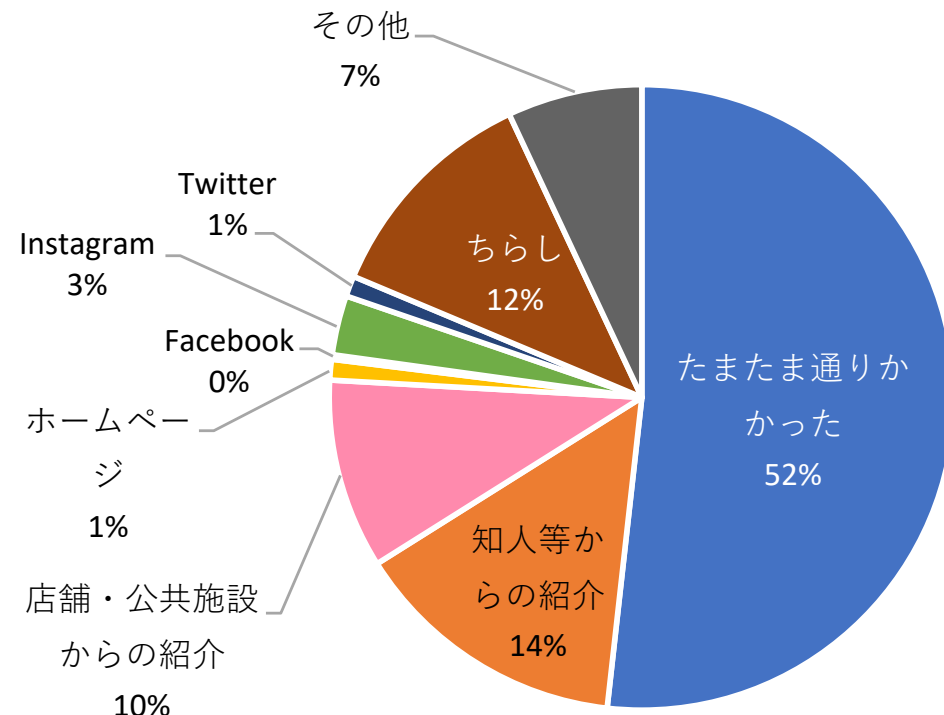
認知度は約4割、きっかけは「通りかかり」が約半数

■ 認知度



(n=2,236)

■ 知ったきっかけ

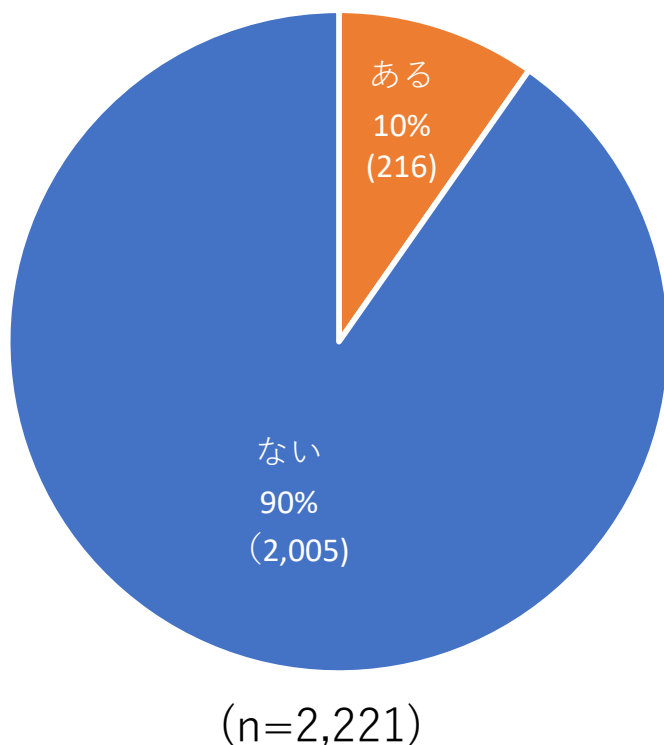


(n=846)

- ・知ったきっかけ「その他」内容
自治会・知人・小学校等10、なんらかのきっかけで利用11、テレビ・情報誌・ラジオ5、ケアプラザ3

「利用したことがある」は10%、利用した感想はさまざま

■ 利用有無



■ 利用した感想など

ママ向けの座談会に参加した。同じ悩みを持つ人が多くこれを街づくりに活かしたらいいなと思った。	40代
チラシコーナーから必要な情報を探していたところスタッフの方が声をかけて下さり、洋光台のまちの魅力などが分かって、それ以降地域の中で楽しむ時間が増えました	40代
ママさんと子どもが居て楽しく会話できる場でした。通りがけにも利用されるシニアの方々が子どもにあいさつしてくださったりと明るい印象でした。	20代
アットホームで利用しやすいので、何かあったら立ち寄ろうと思える場所。色んな人に知ってもらいたい。	40代
インスタで小さなことはじめ市を知り、5月に初出店した。洋光台にこんなに人とつながれる場所があることを知り、うれしくなると同時にもっと活動を盛上げていきたいと思った。	40代
街のイベントを知ることができ、知り合いが増えた。子育て広場に参加して、洋光台での子育てのイメージが湧いた（現在妊娠中）。まちまどの担当者のお2人が媒介となって地域にどっぷり当事者として参画してくださっていて、ありがたく心強い。	30代
魅力はない。イベントよりも人が使える飲食店等を商店街に呼ぶ活動をしてほしい。	40代
平日の火～金9:45～17:00までは利用出来る人が限定されますね。利用した事無いです。	30代
ゆっくりみれるようずっと話しかけてこないでほしい。顔なじみすぎても恥ずかしい。	無回答等
通りかかった事はあるが、判らなかった。気軽に話しかけ、オープンな雰囲気気付かせてほしかった	60代
一人では利用しづらい。入りづらい。	50代
洋光台のある一部しか利用しない、出来ない。まずは認知されているか。	50代
何をやっているのか分かりにくい。サンモール広場を通るときにイメージが掴めると良い	60代
スポンサーサイドに片寄っており、地域全体の公平性が感じられない	60代
活動内容や、イベントの情報が伝わってこない。	60代
イベントの開催情報等のPRが不足？	70代
まちに必要な施設だと思いますが今のところ利用動機がありません。	60代
広告など、宣伝してなければ、わかりづらいと思います。	50代

「必要」「やや必要」の合計

80%超

「②気軽に食事や休憩ができる飲食店」

「③ゆったりくつろげるおしゃれな飲食店」

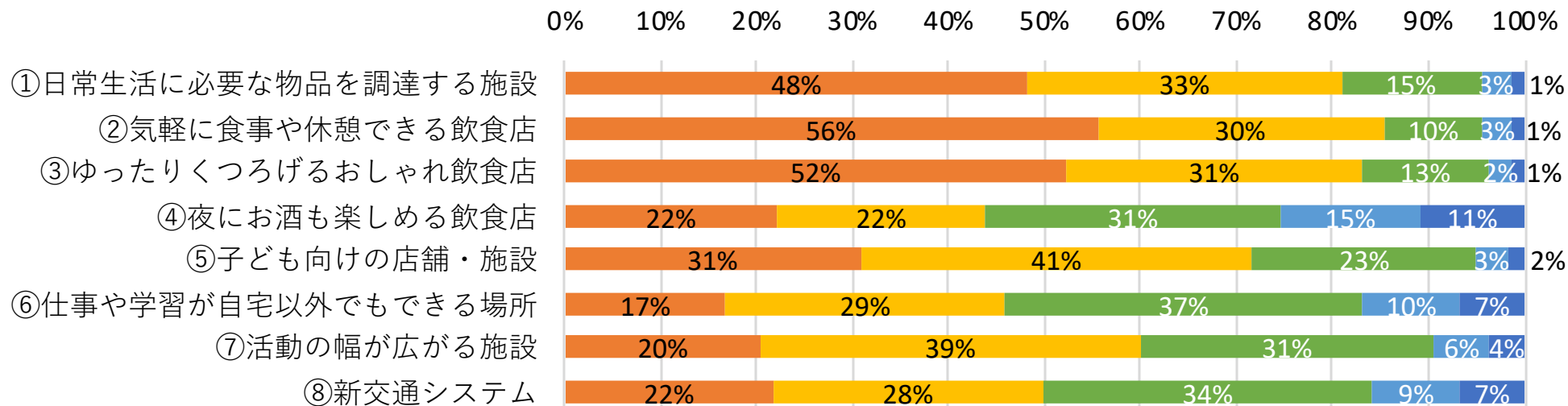
「①日常生活に必要な物品を調達する施設」

50%以下

「⑥仕事や学習が自宅以外でもできる場所」

「④夜にお酒も楽しめる飲食店」

→②③の飲食店については
自由記載でも要望が多く
出ている



■必要 ■やや必要 ■どちらともいえない ■やや不要 ■不要

「望ましい」「やや望ましい」の合計

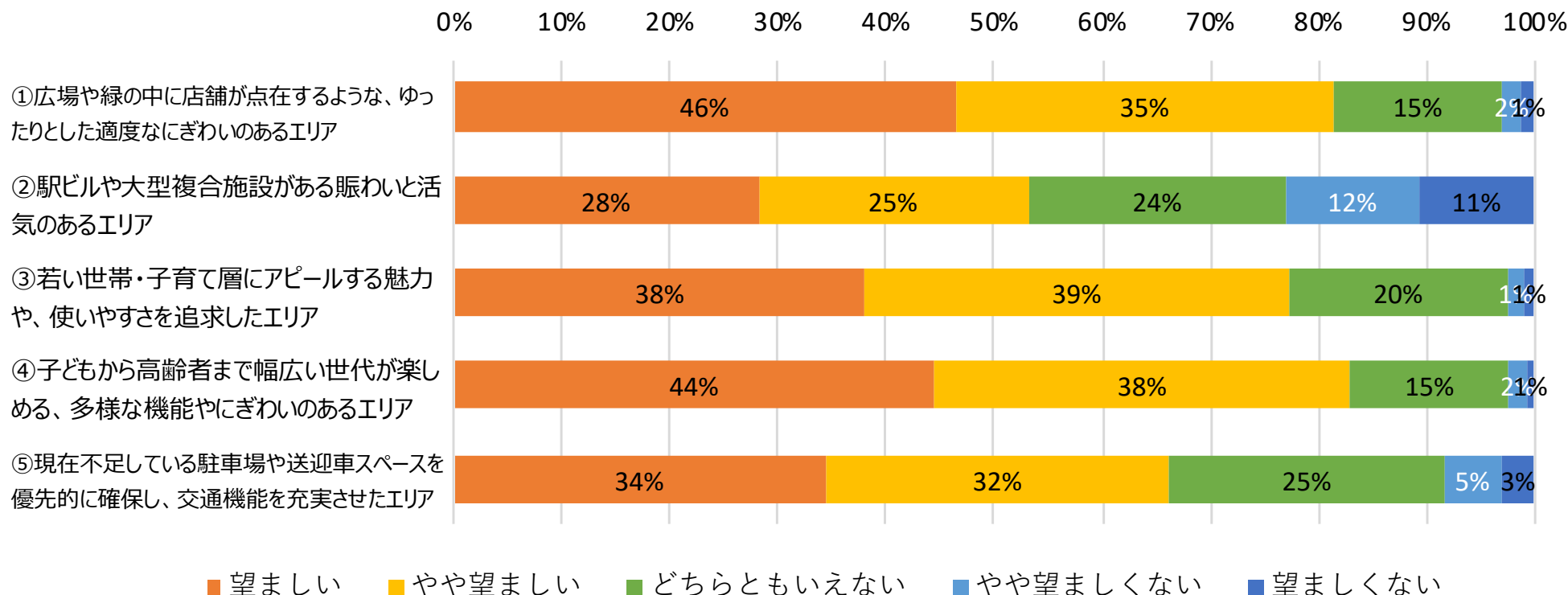
80%超

「④多世代が楽しめる多様な機能やにぎわいのあるエリア」

「①広場や緑のなかに店舗が点在するゆったり適度な賑わいのあるエリア」

60%以下

「②駅ビルや大型複合施設がある活気と賑わいと活気のあるエリア」

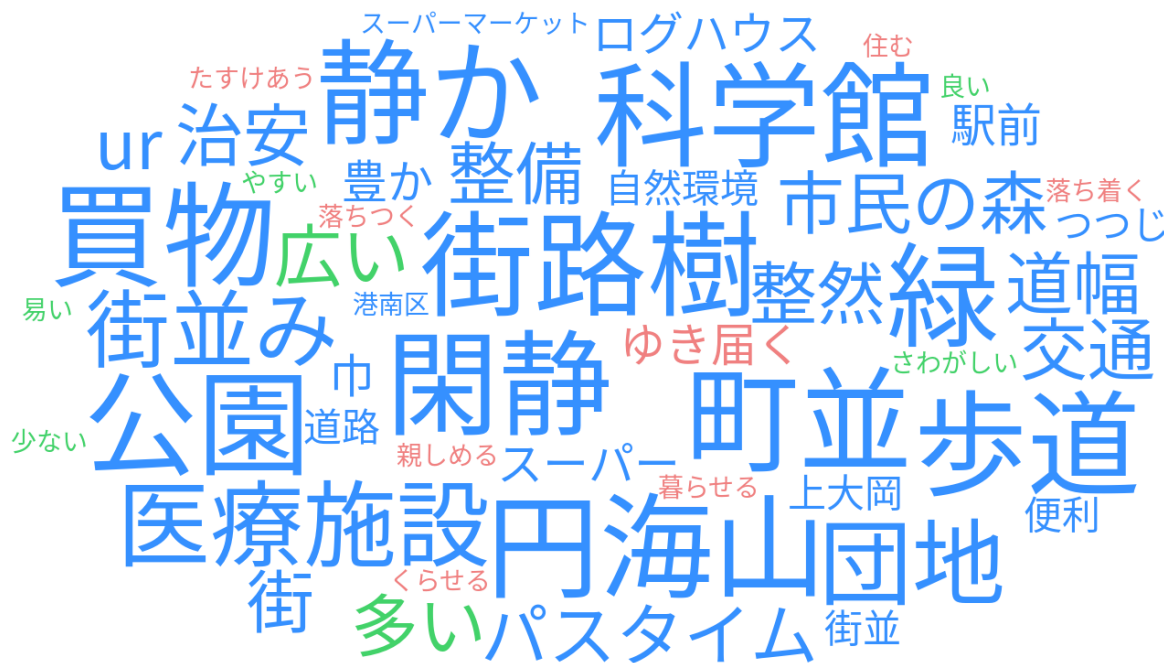


約6割(1,374名)が回答

洋光台の特徴といえる「緑豊かな環境」「静かな環境」「整備されたまち」

「利便性(買い物・医療施設)」がみられる

特定の施設では「こども宇宙科学館」「円海山」「市民の森」など



※ ユーザーローカル テキストマイニングツール

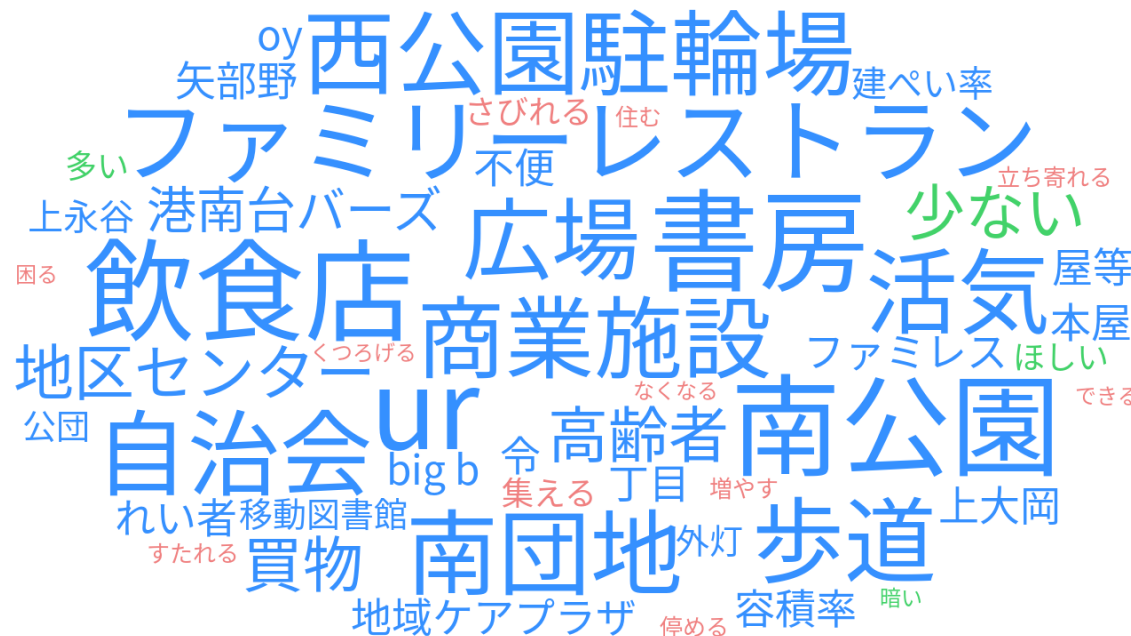
(<https://wordcloud.userlocal.jp/>) による分析

特徴語を読み取りやすくするため「洋光台」「洋光台駅」「港南台」「港南台駅」「街区」を除外した上で、特徴後の上位50を表示

- ・まちづくりにも力を入れているのが分かる→利用してみたい内容になっている。（20代）
- ・シニアの割合が高過ぎるが、若年層向けのオシャレなお店や塾が増えるなど、街の高齢化等に対応すべく誘致などの努力しているのは讃賞される取り組みだと思う（30代）
- ・町並みが広々としているイメージ。閑静な住宅街。URの広場が明るく、住みたいと思いました。（50代）
- ・世代やバックグラウンドの多様性。URと地域が協力して活性化の取組を継続しているところ。息の長い活動が今後も続くことに期待しています！（60代）
- ・書店がないが、港南台や上大岡に行けば良いし、映画館も同じ。基本的な生活に必要なものが揃っているので、これからも住み続けられると思っています。私が考えていたコンパクトシティかもしれない。（70代）
- ・洋光台は住宅地としては市内で最高です。「ルネッサンスin洋光台」の活動を見て来ましたが各部門の専門家の方々の意見がよく反映された結果と満足しています（80代）

約6割(1,399名)が回答

「飲食店」「ファミリーレストラン」等が少ないことへの不満、
商業施設の充実への要望、駐輪場への不満、閉店した「浜書房」を惜しむ声
・「南公園」「西公園」など特定の場所への意見も今後状況に応じて分析



※ ユーザーローカル テキストマイニングツール

(<https://wordcloud.userlocal.jp/>) による分析

特徴語を読み取りやすくするため「洋光台」「洋光台駅」「港南台」「港南台駅」「街区」「磯子駅」「駅」「新杉田」「駅前」「団地」「団地の」を除外した上で、特徴後の上位50を表示

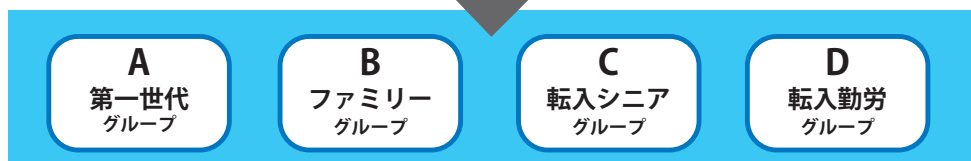
- ・ファミレス含む飲食店がとにかく少ない。駅前の浜書房跡地がずっと空き店舗で印象が悪い。隣の港南台駅との差が激しい。新築マンションが建たないので若い夫婦の転居場所を選ばれない。(40代)
- ・「まちまど」「CCらぼ」は知らなかった。これから退職をむかえ、第2の人生を送るにあたって、洋光台の町でどのようにコミュニティに参加していけばよいか、手がかりを知りたい。できれば、自治会の回覧板などに載せてほしい(今は、町かどの掲示板を見るくらい、なので)。(60代)
- ・まちまど、CCラボやまる然が、地域外からも人が集まるイベントをどんどん企画し発信しています。長く続くよう支援して下さい。建物を整備するだけでは、コミュニティと街の魅力は高まりません。(60代)
- ・活気に欠け、面白さが無い。インパクトのある何かを作る必要があると思う。良い人が多い街なのでもっと皆さんにアイデアを出してもらうようアピールする必要があると思います。今迄仕事、遊びで全国に(47都道府県全て)行き、多くの都市に住みましたが、これ程住みやすい街は珍しいです。(70代)

01 居住者のグルーピング（クラスター分析）

2024 年調査の分析

まちに暮らす様々な方々を、個人や世帯の特性が似ているもの同士でグループにします。
2019 年第 3 回調査で得られた以下 A~D の 4 つのグルーピングを経年変化を見るために
2023 年第 4 回調査でも用いました。

年齢 世帯人数 居住年数 居住経緯 転入元 世帯形態 住宅種別 丁目 定住意向 近所付合い 主要な活動 主要交通手段

**02** 「まちの総合的な満足度」に与える影響をまとめる（因子分析→重回帰分析）

アンケート設問の詳細項目を 6 つの因子にまとめ、グループごとにどの因子の影響が大きいのかを分析します。

防災意識 防災拠点 防犯活動 歩行者優先 整然とした街並み 緑豊かな
のどかさ 自然 駅前賑い 買い物利便性 バス利便性 自転車利便性
医療充実 福祉充実 共助 バリアフリー 子育て施設 子育て配慮
家族向け住宅 地域活動 交流拠点 近所付合い 多様な人材・・・防災と地域
コミュニティ 利便性
まちの雰囲気 医療・福祉
子育て環境 まちへの愛着**03** グループごとの意見の傾向をみる（テキストマイニング・特徴語分析）

「4 つのグループ」ごとに、「どういう意見があるのか」、グループで特徴的に登場する
単語＝特徴語を用いた分析を行いました。

重回帰分析とテキストマイニングによる2013/2016/2019/2023経年変化

(▶次のページを参照)

経年変化の分析

04 過去 3 回の調査との経年比較の読み取り

2019 年の調査分析において、2013 年、2016 年、2019 年の 3 回の経年分析を行いました。
今回は 2023 年の調査結果を加えて、4 回の経年比較の読み取りを行いました。

第3回（令和元年／2019年）と
同様の手法で下記を実施した

- ・回答者を4つのグループに分類
- ・「まちの総合満足度」に与える
因子分析
- ・グループごとの意見の傾向分析
- ・経年変化分析

調査協力

- 重回帰分析
有吉亮特任准教授（名古屋大学）
- テキストマイニング分析
鶴見裕之教授（横浜国立大学）

どのグループでも
「利便性」の影響が
突出している

A：第一世代グループ



回答者数 594 人
平均居住歴 47 年
平均世帯主年齢 73 歳
持ち家率 71%
平均世帯人数 1.9 人

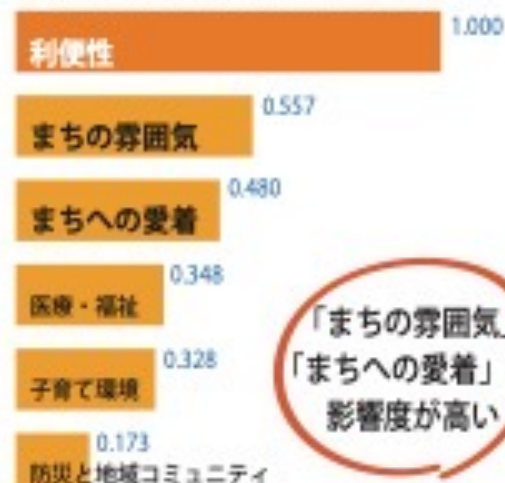
〔想定される世帯イメージ〕

- ・ 70 代夫婦二人暮らし
- ・ まち開きとともに居住、洋光台で子育て、子どもはとくに独立
- ・ 住まいは 3 丁目の戸建て
- ・ ずっと洋光台に住みたい

重回帰分析（満足度に影響を与える因子）

※数字は「利便性」を 1.000 とした標準化偏回帰係数

「まちの総合的な満足度」に与える影響



「まちの雰囲気」
「まちへの愛着」の
影響度が高い

特徴語分析

※他グループより特徴的に記入された言葉

良 いところ、まちの魅力

「便利」「町」「交通」
「買物」「静か」「緑」「便」「バス」
「住宅地」「美しい」「洋光台」...

落ち着いた環境と利便性を評価

困 りごと、まちの課題

「洋光台」「広場」「利用」
「人」「商店」「自転車」「老人」
「UR」「町」「歩道」...

高齢化の進行や商店の閉店、
歩道の自転車利用状況に不満

B：ファミリーグループ

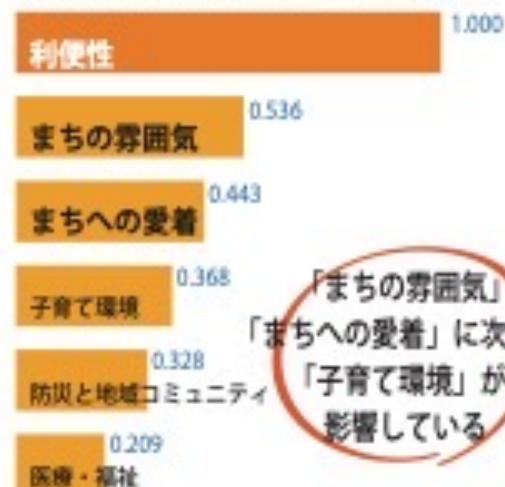


回答者数 577 人
平均居住歴 12 年
平均世帯主年齢 46 歳
持ち家率 74%
平均世帯人数 3.6 人

〔想定される世帯イメージ〕

- ・ 40 代夫婦＋子ども 2 人（中学生と小学生）
- ・ 第一子の誕生を機に 6 丁目の分譲マンションを購入、新杉田の民間賃貸より転入

「まちの総合的な満足度」に与える影響



「まちの雰囲気」
「まちへの愛着」に次いで
「子育て環境」が
影響している

良 いところ、まちの魅力

「公園」「多い」「治安」「歩道」
「広い」「イベント」「子育て＋しやすい」
「子ども」「駅前」「スーパー」...

インフラ（公園・歩道）と治安、
イベントが多いことを評価

困 りごと、まちの課題

「駅前」「子ども」「お店」「ベビー
カー」「なくなる」「スーパー」「少ない」
「嬉しい」「カフェ」「本屋」...

ベビーカー利用や子どもが入
れる店舗の不足に不満

C：転入シニアグループ



回答者数 450 人
平均居住歴 15 年
平均世帯主年齢 69 歳
持ち家率 47%
平均世帯人数 1.7 人

[想定される世帯イメージ]

- ・ 60 代夫婦二人暮らし
- ・ 15 年前に子どもの独立を機に金沢区の戸建て住宅を売却、洋光台北団地に入居
- ・ 昨年、現役を引退

「まちの総合的な満足度」に与える影響



「まちの雰囲気」の影響度が強い

良 いところ、まちの魅力

「きれい」「街」「富士山」「街路樹」「緑」「交通」「駅」「便」「町」「街並み」……

景観の良さと利便性を評価

困 りごと、まちの課題

「思う」「寂しい」「坂道」「店」「バス停」「スピード」「長い」「高齢者」「改善」「暗い」……

店舗閉店でまちが寂しくなること、マナー違反が多いことに不満

D：転入勤労グループ

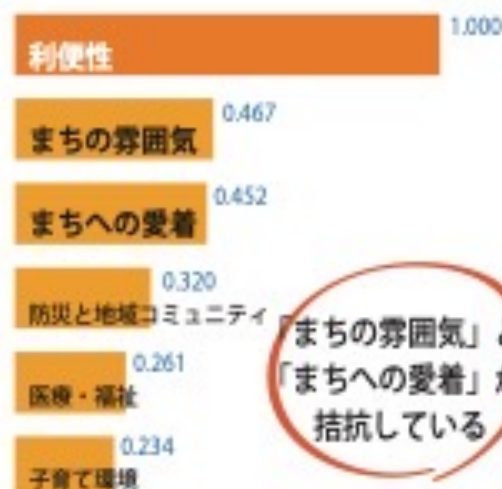


回答者数 302 人
平均居住歴 5 年
平均世帯主年齢 42 歳
持ち家率 25%
平均世帯人数 1.5 人

[想定される世帯イメージ]

- ・ 40 代男性一人暮らし
- ・ 転勤に伴い、3 年前に洋光台中央団地に入居
- ・ 近所付き合いはあまりない ・ 定住志向は低い

「まちの総合的な満足度」に与える影響



「まちの雰囲気」と「まちへの愛着」が拮抗している

良 いところ、まちの魅力

「スーパー」「治安」「良い」「落ち着く」「自然」「雰囲気」「閑静」「少ない」「整備」「困る+ない」……

治安や自然環境が守られながらも買物が利便であることを評価

困 りごと、まちの課題

「飲食店」「少ない」「住む」「カフェ」「感じる」「バス」「閑店」「お店」「買物+できる」「不安」……

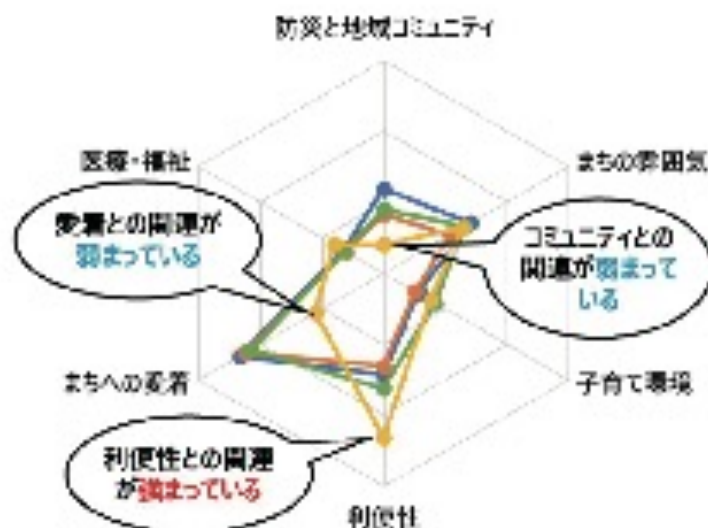
飲食店・バスの少なさに不満

まちの総合満足度に影響するもの / 2013 — 2016 — 2019 — 2023

A：第一世代グループ

まちの総合満足度への影響

- 「**利便性**」が強まる。
- 「まちへの愛着」「防災・コミュニティ」が弱まる
- 「医療・福祉」が若干強まる
- 「子育て環境」は2013・2016に比べて強まる(2019と同程度)



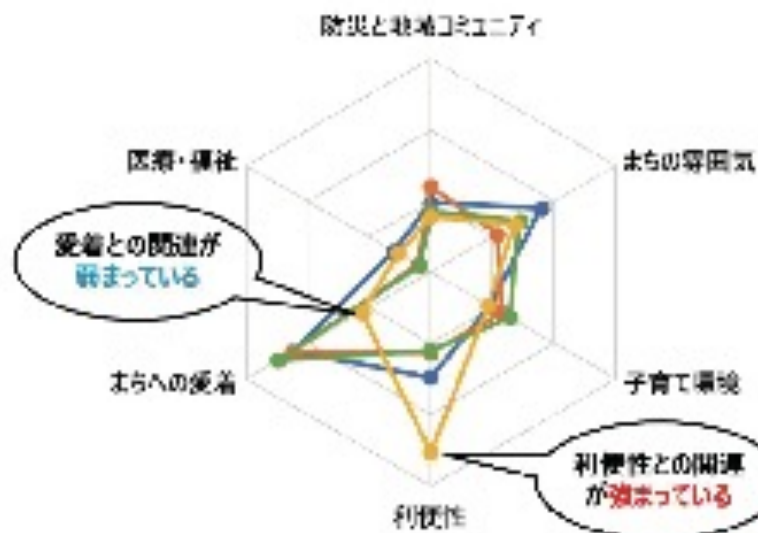
テキストマイニングの結果読み取り

- ▶「緑」「静か」など環境から、「便利」「広場」「お店」など**利便性**に変化
- ▶19年に「子ども」「イベント」など若い世代の暮らし易さへの関心が高まっていたが、23年には「自転車」「老人」「歩道」等の**高齢化や高齢者の暮らしにくさ**につながる言葉に変化

B：ファミリーグループ

まちの総合満足度への影響

- 「**利便性**」が強まる。
- 「まちへの愛着」が弱まる
- 「医療・福祉」が若干強まり2013年と同程度
- 「まちの雰囲気」は各年で変動



テキストマイニングの結果読み取り

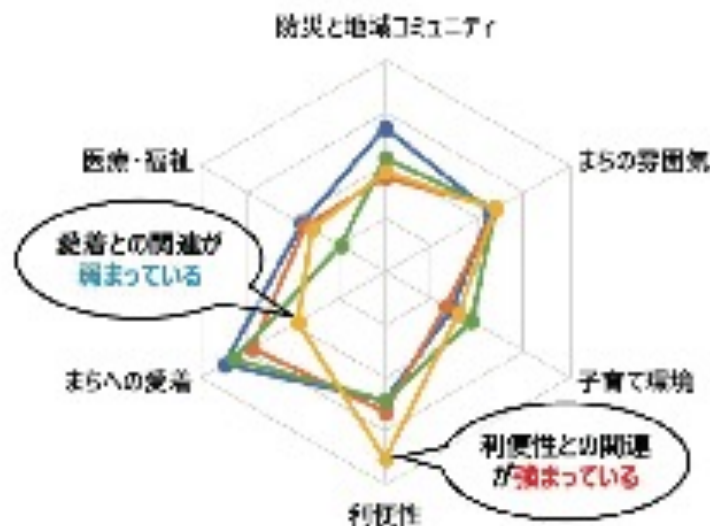
- ▶「駅」「駅前」-「広場」と**駅前への関心**が一貫して高く、多様な意見がある
- ▶19年は「行く」「参加」「イベント」など**活動や空間の使い方**の言葉が出現
- ▶23年は「お店」「なくなる」「少ない」「カフェ」「本屋」など**店が少ないこと、減少したことへの不満**が増

まちの総合満足度に影響するもの / 2013 — 2016 — 2019 — 2023

C：転入シニアグループ

まちの総合満足度への影響

- 「利便性」が強まる。
- 「まちへの愛着」が弱まる
- 2019に弱まった「医療・福祉」が若干強まる



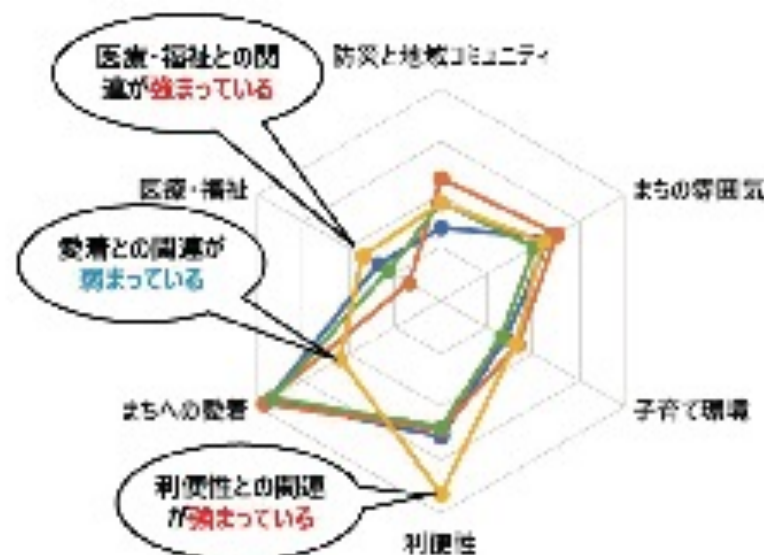
テキストマイニングの結果読み取り

- ▶13年16年は、環境や利便性やへの評価・不満が混在していたが、19年・23年は店やへの具体的不満(残念)が増えている
- ▶23年は「バス停」「スピード」「改善」など、生活上の困りごとがより具体的にでている

D：転入勤労グループ

まちの総合満足度への影響

- 「利便性」「医療・福祉」が強まる。
- 「まちへの愛着」は2019まで他のグループよりも高かったが2023に弱まり他グループと同程度に



テキストマイニングの結果読み取り

- ▶13年・16年の港南台との比較や住民マナーの不満から、19年・23年は「増える」「お店」「飲食店」「カフェ」「少ない」など増やして欲しい店や飲食店が少ないなどより具体的な意見へ

まちの総合的な満足度に影響するもの＋自由意見の特徴

全てのグループ

- 「まちへの愛着度」の影響が弱まり「利便性」の影響が強まっている
- 強まり方に差はあるが 2019 年に比べて「医療・福祉」の影響が強まっている

A：第一世代グループ



- 「防災・コミュニティ」の影響が弱まる
- * 高齢化や高齢者の暮らしにくさの記載が増える

C：転入シニアグループ



- * 店への具体的な不満（残念）が増える
- * 生活上の困りごとに関する記載が増える

B：ファミリーグループ



- * 駅前への関心が高い
- * 店が少ないこと、減少したことへの不満が増える

D：転入勤労グループ



- * 全体的に具体的かつ多様な意見が増える

「まちへの総合的な満足度」に対し「利便性」「医療・福祉」の影響が強まったことに関して

- 令和元年から令和5年の間の世界的な大きな出来事として「**新型コロナウイルス感染拡大**」があげられる。洋光台においてもその影響は大きく、以下のような意見もあった。

- ・居酒屋、飲食店が減っている（閉店）ように感じられ、コロナをきっかけに活気がなくなっているように感じる
- ・中央団地の集合スペースがきれいになったのは良かったが、周りの店がコロナで閉まっており、余計に淋しい街に見える様になってしまった。
- ・コロナで無くなってしまった店が多数あって、空き店舗が目立つ様になった。

- 駅前・駅近くの書店の閉店・5丁目のファミリーレストランの閉店をはじめとした**駅前・駅近くの店舗の閉店**などにより**飲食店等が欲しいという要望がより高まったこと**、また、**コロナ禍を経て洋光台で過ごす時間が長くなり身近な場所での生活のしやすさに目を向けるようになったことから、まちの総合満足度に「利便性」の影響が強く出たと考えられる。**

- コロナ禍により医療機関との接点が高まったことから、全グループで「医療・福祉」の影響が強まりに繋がったと考えられる。**また、第一世代の「防災・コミュニティ」弱まりにも外出自粛などによる影響があると考えられる。

- ・コロナ禍で外出しなくなった方が多く、地域の中で高齢者を笑顔で元気な姿になってもらいたい。
- ・コロナの影響も大きいと思うが、転居してきたので新しいコミュニティを拡げることが難しい。（30代の意見）

- コロナ禍が落ち着きイベントや地域活動が増え、まちの賑わいや人の交流が増えつつあるが、日常生活の利便性を高める店舗の充実がより洋光台のまちの満足度の向上・活性化につながると考えられる。**

●アンケート結果の展示・配布

①「洋光台クラフトマルシェ」

→令和5年11月（2日間）

速報版の展示。100名近くの目にとまったが、他の目的のための来場者が多かった

②「CCラボ」

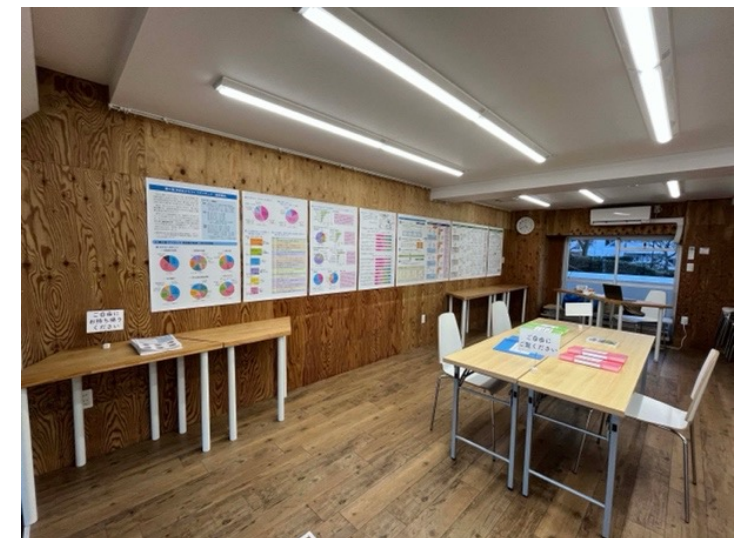
→令和6年2月（2日間）

詳細版・特別集計等を含めた内容の展示、アンケート結果の配布、自由意見閲覧。金曜・土曜の10時～17時に実施したが、来場者は数名

③「洋光台地域ケアプラザ」

→令和6年4月18日～5月14日（約1ヶ月）

CCラボでの展示物を掲示、アンケート結果の配布、自由意見閲覧を予定



●その他

- ・ アンケート結果の配布（洋光台地域ケアプラザ、まちまど等）
- ・ UR都市機構のホームページ内「ルネッサンスin洋光台」ページにて公表予定